

グローバルにいがた



世界の国から

at

スリランカ

広大な茶畑が国の象徴

前コロombo日本人学校長

新井 政明さん

＝長岡市出身＝



スリランカは、日本の南西約7千キロ、インド洋上に位置する「涙の滴」のような形をした島国で、約2100万人が生きています。1948年にイギリスから独立してセイロンと呼ばれ、その後、スリランカ民主社会主義共和国となりました。

「スリ」は「光り輝く」、ラ「ンカ」は「島」を意味します。スリランカの象徴は広大な茶畑で、紅茶はこの国を代表する特産品です。八つある世界遺産やシナモンなど数々のスパイスも、この国の魅力の一つとなっています。

スリランカは、日本にとって恩義のある国と言われています。ジャヤ・ワルダナ大統領は、

戦後処理を決定したサンフランシスコ講和会議にセイロン代表として出席しました。

そこで「憎悪は憎悪によってやむことはなく、慈愛によってやむ」というフッタの言葉を引用して、日本に対する賠償請求を放棄する旨の演説を行い各国の賛同を得ました。これにより、日本が国際社会に復帰できる道筋ができました。

現在のスリランカは、昨年4月の爆弾テロと今年の新型コロナウイルスのため、規制が厳しくなっています。ウイルス対策から時折、外出禁止令が出されています。その際は外出するだけで逮捕、自家用車は没収されるという状況です。

経済面では、中国からの多額の有利子援助により開発が進む中、返済が進まず完成した港を99年間租借されるなどの弊害が生じています。

日本の友好国であるスリランカが適切な支援により、豊かな国となることを願っています。

(新井さんは長岡市教育センターを退職後、シニア派遣としてコロombo日本人学校に勤務。現在は、つくば開成学園高校に勤務しています)



日本とは縁の深いスリランカ。コロombo日本人学校では校外学習も行われている

◇おことわり 次回は8月24日に掲載予定です。